※本安全性要約書は 2014 年時点の情報に基づき作成されています。それ以降に安全性情報が更新されている場合がございますので、最新の情報につきましては本製品の購入先経由で SDS を入手してご確認ください。

作成:2014 年 2 月 14 日

三井化学

GPS 安全性要約書

塩酸(35%)

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。 ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明	
三井化学の製品名	塩酸(35%)	
化学名 (別名)	塩化水素水溶液	
成分	塩化水素	水
CAS 番号	7647-01-0	7732-18-5
濃度 (%)	35	65
分子式	HCl	H_2O
構造式	H-Cl	H-O-H
官報公示整理番号	化審法 : (1)-215	化審法 : 対象外

2. 物質の概要 (General statement)

塩酸(35%)は、淡黄色で刺激臭のある粘稠な液体です。水に容易に混合します。

一般的に、塩酸(35%)の成分の塩化水素は、ジクロロエタン原料, 染料・香料・医薬・農薬・無機薬品製造原料, 食品製造用, 排水処理用, エッチング用, 分析用試薬などに用いられています。

塩酸（35%）は重篤な皮膚の薬傷と重篤な眼の損傷をもたらします。吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れがあります。一度飲み込んだだけ、または皮膚に触れただけ、または吸入しただけでも、呼吸器に障害を与えます。長期に飲み続ける、または皮膚に触れ続ける、または吸入し続けると、歯及び呼吸器系に障害を起こします。飲み込み、気道に侵入すると生命に危険を及ぼす恐れがあります。

塩酸（35%）が水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いと考えられます。環境中に放出された場合は主に大気と水域に移行すると考えられます。主成分の塩化水素の水溶解性が高いことから生体内には蓄積しないと考えられます。

気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。主成分の塩化水素については、ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による Ceiling*は 2 ppm ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクの着用を考慮して下さい。 吸収缶は酸性ガス用のものを推奨します。

付着すると皮膚から吸収されますので、皮膚を露出しないようにして下さい。

消費者が塩酸（35%）を含む製品を使用する場合には、商品付属の取扱説明書に従って使用して下さい。

環境への影響を最小化するために、塩酸（35%）またはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

*: 7. 推奨するリスク管理措置 を参照して下さい。

3. 製品情報 (Product information)

三井化学の塩酸（35%）は、食品添加物、中和剤、イオン交換樹脂の洗浄剤などに使用されています。一般的に、塩酸（35%）の成分の塩化水素は、ジクロロエタン原料，染料・香料・医薬・農薬・無機薬品製造原料，食品製造用，排水処理用，エッチング用，分析用試薬などに用いられています。

(出典 :NITE CHRIP IV. 暴露情報 IV.暴露情報

http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces)

この製品に関する詳しい情報については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社

https://www.mitsuichem.com/contact/safety/

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

塩酸（35%）は、淡黄色で刺激臭のある粘稠な液体です。 水に容易に混合します。

特性	説明

外観	液体
形状	粘稠
色	淡黄色
臭い	刺激臭
pH	酸性
融点	-66 ℃
沸点	110 ℃
比重	1.18（22 ℃）(水より重い)
引火点	引火しない
発火点	知見なし
蒸気圧	1.41 kPa(20 ℃)(強い揮発性がある)
水溶解性	水に容易に混合する

5. ヒト健康影響 (Health effect)

塩酸（35%）は重篤な皮膚の薬傷と重篤な眼の損傷をもたらします。吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れがあります。一度飲み込んだだけ、または皮膚に触れただけ、または吸入しただけでも、呼吸器に障害を与えます。長期に飲み続ける、または皮膚に触れ続ける、または吸入し続けると、歯及び呼吸器系に障害を起こします。飲み込み、気道に侵入すると生命に危険を及ぼす恐れがあります。

影響	説明
急性毒性　(経口)	飲み込むと有害です
(吸入)	吸入すると有害です
皮膚腐食性･刺激性	重篤な皮膚の薬傷をもたらします
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	重篤な眼の損傷をもたらします
感作性 (呼吸器)	吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れがあります
(皮膚)	アレルギー性皮膚反応を起こす可能性は低いと予想されます
生殖細胞変異原性	分類できません
発がん性	発がんの可能性は低いと予想されます
生殖毒性	分類できません
特定標的臓器毒性	一度飲み込んだだけ、または皮膚に触れただけ、または吸入しただけでも、呼吸器に障害を与えます
(単回ばく露)	

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期に飲み続ける、または皮膚に触れ続ける、または吸入し続けると、歯及び呼吸器系に障害を起こします

6. 環境影響 (Environmental effect)

塩酸(35%)が水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いと考えられます。環境中に放出された場合は主に大気と水域に移行すると考えられます。主成分の塩化水素の水溶解性が高いことから生体内には蓄積しないと考えられます。

環境有害性	説明
水生環境有害性	水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いです
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命・挙動	説明
環境中の移行性	塩化水素は常温で気体であり、また高い水溶解性(823 g/ℓ at 0 ℃)を示すことから、塩酸(35%)が環境中に放出された場合は主に大気と水域に塩化水素が移行すると考えられます。
生分解性	知見がありません
生物蓄積性	塩化水素は水溶解性が高い(823 g/ℓ at 0 ℃)ことから、塩酸(35%)は生体内には蓄積しないと考えられます。

7. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

塩酸(35%)を使用する際には、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。 これらリスク管理措置をとることで、作業者、消費者および環境の塩酸(35%)に対するリスクは管理できると考えられます。

対象	リスク管理措置
作業者	・気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。 密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。主成分の塩化水素については、ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による Ceiling* は 2 ppm ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクの着用を考慮して下さい。 吸収缶は酸性ガス用のものを推奨します。 * ： 米国産業衛生専門家会議によって設定された、作業中のどの時点においても越えてはならない濃度

	・付着すると皮膚から吸収されますので、皮膚を露出しないようにして下さい。 ・作業管理者は作業者に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい ・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設定して下さい
消費者	商品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい
環境	・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい ・塩酸（35%）またはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

8. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014 年 3 月 4 日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/2/14			2013/10/31	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。 また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。